

RPPC メールマガジン 第 870 号

リサイクルポート推進協議会（令和 3 年 4 月 28 日）

■先週・今週の事務局からのお知らせ

1. R03_定時総会の「書面開催」について

令和 3 年度定時総会につきましては、現下の新型コロナウイルスの状況に鑑み、6 月下旬
目途に書面で行う方向で調整中です。

詳細が決まり次第、御連絡致します。

2. 各団体の登録情報について【重要】

5 月以降、総会に向けて議案書等の郵送を行います。

担当者の変更、役職・住所変更等ございましたら

お早目に事務局までお知らせいただきますようお願い致します。

3. 来週のメルマガは大型連休の為休刊致します。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. リサイクルポート推進協議会、災害廃棄物海上輸送等評価で「環境大臣賞」受賞

リサイクルポート推進協議会の「災害廃棄物処理検討部会」（部会長：入野智樹ダイセキ環
境ソリューション事業推進部長）は、令和元年台風 15 号・19 号発生時に災害廃棄物をコ
ンテナにより海上輸送したことなどが評価され、環境大臣から表彰状を授与された（3 月 2
6 日付）。

功績概要は①輸送実績＝▽台風 15 号 1260 t のうち海上輸送 1180 t（千葉県館山
市から搬出）、▽台風 19 号 1 万 5380 t のうち海上輸送 6270 t など（伊豆の国市、
栃木市、長野市、常陸大宮市から搬出）。海上輸送は井本商運、陸上輸送・処分は大栄環境
グループが担当した。

②環境省主催の情報交換会、分科会へ出席するなど災害対応における課題解決に向けた議
論への積極的参加。

③災害廃棄物処理検討部会において、国土交通省港湾局と連携し災害時に発生した木くず
の処理について関係者と調整、木くずの受入施設となる製紙・セメント工場と近隣港湾の情
報について被災地港湾管理者あてに周知。

2. 国交省港湾局、港湾DXの運用拡大を図る。横浜新本牧ふ頭整備で試行

国土交通省港湾局は、港湾整備におけるデジタルトランスフォーメーション（港湾DX）の実用化に向け、横浜港新本牧地区で整備が始まっている大水深国際コンテナターミナル整備事業を試行対象として取り上げ、検討を進めている。

港湾DXは①ICT施工、②BIM/CIM、③DB、の各取組を相互連携させると共に、CIMによる3次元モデルを中心に情報共有し、一連の建設システムの効率化・高度化を図る。

試行として取組んでいる横浜港新本牧地区のふ頭整備では、新規事業として工事が始まっていることや大規模事業であること、工期が長いなど港湾DXを適用して本格検討していくには条件が揃っている。地盤改良や岸壁本体工などについて、設計の段階から情報を共有し、各関係者が同情報を踏まえて次のステップへと効果的に進めていく。

3. 国土交通省第3回グリーン社会WG、港湾・海事分野のCN等

国土交通省は4月16日、第3回「グリーン社会WG」（座長、石田東生筑波大学名誉教授）を開催し、取り組むべき重点プロジェクトの一つとして「港湾・海事分野におけるカーボンニュートラルの実現、グリーン化の促進」を挙げた。

同WGは社会資本整備審議会、交通政策審議会の環境部会及び技術部会の合同によるもの。

港湾・海事分野で具体的に挙げられた取組みは①カーボンニュートラルポート（CNP）形成の推進、②船舶の脱炭素化による持続的で競争力ある海上輸送サービスの実現、③洋上風力発電の導入促進、④気候変動リスク対応、海の保全・再生等。

4. 中城湾港長期構想策定、年度内改訂。物流機能強化や静脈物流の充実

沖縄県は4月15日、中城湾港の概ね20～30年先を視野に入れた長期構想をまとめた。中城湾港の現行港湾計画は平成2年に同12年を目標として策定されており、約30年が経過している。今年度内に10年～15年先を目標とする次期港湾改訂計画を打ち出す予定。

長期構想の基本理念は沖縄らしい新たな価値化を創造する「臨港都市・東海岸サンライズポート」として、「物流・産業」「交流・賑わい」「安全・安心」「持続可能な地域」の4つの視点から中城湾港の果たすべき役割を示している。

「物流・産業」では新港地区において、▽航路の新設・拡充、▽船舶・貨物・荷役特性を踏

また機能的な物流ターミナルの整備など。新港地区東ふ頭を対象に、RORO船やPCC船、バルク船に対応した岸壁を予定している。

また「持続可能な地域」では、西ふ頭地区においてリサイクル関連貨物の集積を進めると共に、県内離島や国内他港とのリサイクルポートとしてのネットワークを充実する。島しょ県であるためリサイクル処理施設のない離島から新港地区、新港地区から本土までの海上輸送が不可欠であり、静脈物流ネットワークの充実を図る。

※港湾空港タイムス4月26日号から編集

※新たに導入したPCとメーカーの環境では、添付ファイルが「***.dat」となったり、不要な添付ファイルが付く場合があります。受信ファイルに不具合がある場合は、気兼ねなくその旨ご指摘ください

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：山田 安彦 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////